

武蔵野市子どもの権利に関する条例検討委員会
第8回委員会 報告

7月7日 委員長 喜多明人

◇こども基本法の成立（2022年6月15日）

- 「日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、……こども政策を総合的に推進することを目的とする」（1条）
- 「全てのこどもについて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会」を保障し」（3条3項）
「全てのこどもについて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること」（3条4項）（同規定—こども家庭庁設置法3条1項）
- 「多様な社会的活動に参画する機会」の確保（3条3項）
そのために、国・地方公共団体の義務として「子ども施策の策定・実施・評価」への子どもの意見反映に必要な措置（11条）、こども政策推進会議によるこども大綱案の策定へのこども等の意見反映（17条3項）をはかること……。

1 中間報告・条例骨子案に対するパブコメ結果の反映の方法について

2 武蔵野市の子どもの声の反映について

◇子どもの願い、期待感を受けとめる—子どもアンケート（996人）

- 条例をつくること 良いと思う 81・5%（812人）…8割超える子どもの支持
- 自由意見 649人
- 子どもの権利条例を知って（資料9）パブリックコメント（子ども）意見要旨2ページ
大事だと思う
うれしい、安心する
わたしたちの願い

➡条例骨子案の説明文書（骨子の基となる考え、補足意見）に、「聴いてみたい！子どもたちの声」欄（囲み事例）を新設してはどうか。

- A-5「前文への子どもの声・言葉の反映」には子どもからの「良いと思う」等の声を掲載
➡今後、報告書の巻末に（資料9）パブリックコメント（子ども）意見要旨を載せる

（裏面あり）

3 パブコメ結果にもとづく条例骨子案の修正・加筆について

*本文について

—条例骨子案を中心にして

*骨子案の構成・見出し語の修正について

- ・E 保障すべき子どもの権利 ➡ 新C 保障すべき子どもの権利
- ・A-3「Child Friendly Cityの実現」
 ➡ 「子どもにやさしいまち（Child Friendly City）の実現」
- ・C-3「子どもへの子どもの権利広報・学習」 ➡ 「子どもによる子どもの権利学習」

*前文について

●子どもの声（A-5）の記載について

ムサカツの子どもたちの声、子どものパブリックコメント（自由意見）で出た子どもたちの声を、今後市で整理して、条例の素案に反映してはどうか。

以上